

# 夜間学校ニュース

釜ヶ崎夜間学校  
西成区萩ノ茶屋  
2-8-18  
喜望の家急付  
電話 647-3946  
(木曜日夜7時~9時)

## 燈火親しむ

今夜七時から  
喜望の家で

### 「夜間学校文集」を読んで 感想を語り合おう

先月十三日に、「夜間学校文集第二集」が発行されました。夏祭りでも売りましたから、手にとって見た人も多いと思います。今夜は、みなで文集を読んで感想を語り合おう予定です。日頃思っている疑問や不平

不満などを単なるグチや酒でまぎらすのではなく、釜の仲間の「まがまな表現」文章詩、短歌、俳句、とつきあわせることによって、現実にある問題や矛盾を深め、明確にすることができないものでしょうか。

生活が苦しくて、文学や詩、俳句どころではないという人もいるかもしれませんが、しかし生活が苦しいからこそ、よけいに現実を見つめなおし、自分自身をふりかえってみる必要があるのではないのでしょうか。

文章は苦手やという人も仲間作品から何かの着想を得ることが出来るかもしれません。文集の内容は、

伊勢物語

聞き書き 飯場

釜ヶ崎 哀愁の句首

この世界が崩れずにいるのは消えたひとびとによって、伊谷さんの想い出

日雇い労働者は荒野を拓く  
夜間学校 8年第一期  
の足跡

です。

いくつかの句首を紹介してみましよう。

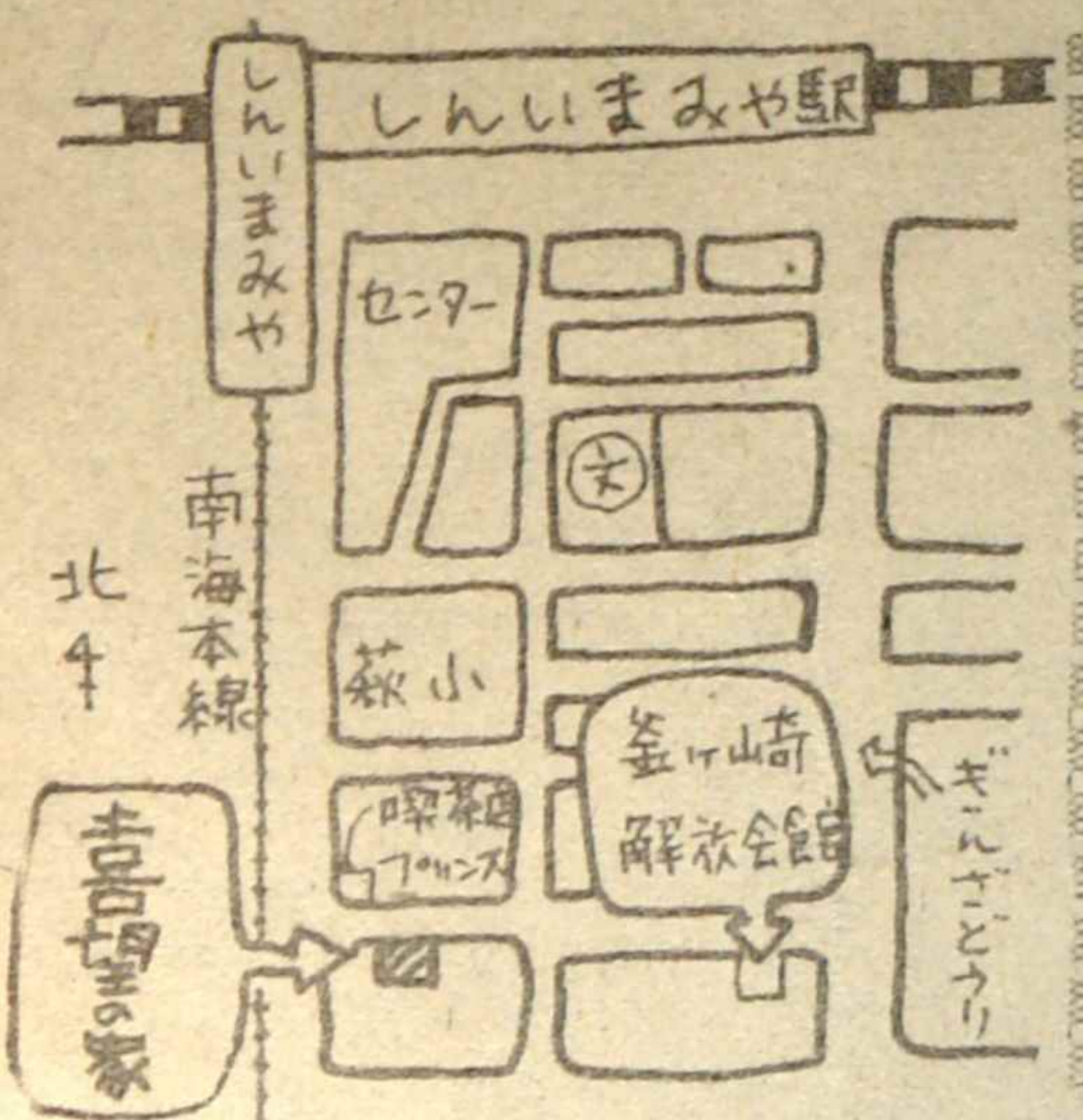
ブル・ダンプ・ユニボ叫べば  
雪の丘

東の峰に時経す陽光  
友来たる 俺アワテツツ  
酒買いに  
隙間風入る友のドヤ  
黙然と座し

生きてし日想う

色々な差別偏見を受けつつ釜で生きていく中で、どうしても表現せずにはおひなかつたもの、現実の叫びが見出せないのでしょうか。ひとりでも多くの仲間の参加を訴えます。

なお、夜間学校では、「夜間学校文集第三集」の原稿を募集しています。原稿は喜望の家まで。



# 才二期 仲間意識 まとめ

## (釜ヶ崎人情)

にんじょう「人情」とは、人として誰にでも  
そなわっている感情。特に愛情やおもいやり  
やなげのこととされています。「人情味」  
といえは、人としてのあたたかみのこと、  
あの人は頼りになることをさしているという  
ことにならざるをでしょう。

人情話」となれば、人のなげ、  
あたたかさ、話や  
実際にあつたこ  
との伝え話となるでしょう。

釜ヶ崎

人情

釜ヶ崎

人情

釜ヶ崎

人情

「少しづつ楽をしたいのは人情だし」  
「人情は紙より薄い」とのことばもある  
くらいです。

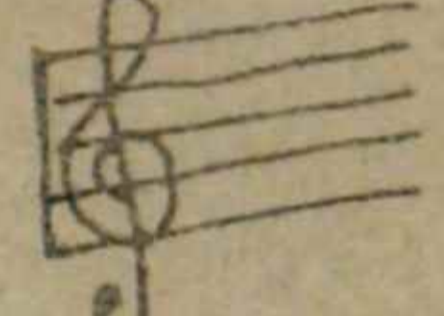
## 釜に人情はないのか?

昔はあつたが、今は少のうなつたとの声か  
多かつたのです。本当に昔は、人情があつた  
といたのでしょうか。生活は確かに苦しかつ  
たはずですが。しかしその中でも元気に生きて  
きたその思いとあつた。昔は良かった  
と言われ、面もあるようです。それでも言う

## 釜ヶ崎人情とは

「単一階層で偏見と差別を  
社会的に受けている中から  
自然発生的に生まれた情愛である」

「命があつたら死にはせぬ  
あくせくせんでものんびりと  
七分五厘で生きられる  
人はスラムと言われけれど  
ここは天国  
ここは天国 釜ヶ崎」



東北地方のある民話から(さん提供)

若者 腹へつた。

老人 腹へつたら田作れ

若者 田作れば汚れる

老人 汚れば洗え

若者 洗えば流れる

老人 流ればよしの葉(は)

ちよつとつかまれ。

\*よし(草)葉(草)

「よし」の音が悪い  
ので「善」しに  
ちよんと呼んだ  
もの。イタ科  
多年草です。信

苦し

今

を

生

き

ぬ

「言われぬ友情のルールがあつたことは確  
かです。苦い故の相互扶助だったのです。  
今もある釜ヶ崎人情  
釜も一般社会に似て、人と人とのつながり  
が冷たくなつたと言われます。自手帖が  
でき、ドヤが個室になつたことで自分中心  
の生活に変わったことによるものです。しか  
し、日雇の仕事し、ドヤに住み一日一日を

「権力(特に警察)もつと大きなものへのい  
かりを忘れない。行政の怠慢の追求。  
「人情をエネルギーに転化して力をつけてい  
こう。人情の組織化、団結。自発的集り、  
点が線となり、輪となる。その輪は強い。」

